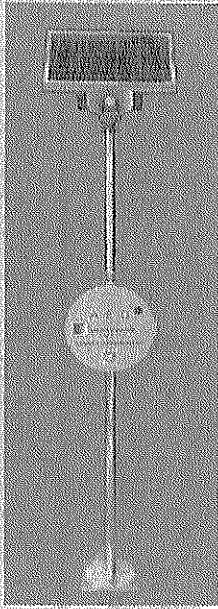


太陽光発電パネル搭載

電工

AED収納箱 屋外設置可能に 電工

電工（静岡県島田市、曾根靖之社長、0547・32・1151）は、防犯機能をつけて自動体外式除細動器（AED）の屋外設置を可能にした太陽光発電パネル搭載AED収納箱の受注生産を始めた。支柱に収納箱と太陽光発電パネルを取り付け、警報音発生や回転警告灯の点灯、録画カメラの起動などに必要な電力はすべて太陽光発電パネルから給電する。緊急地震速報・津波警報を受信し拡声放送する機能も追加できる。自治体向けに初年度20台の受注を目指す。



緊急速報を受信し拡声放送する機能も追加可能

収納箱はステンレス製で、日本光電やフィリップスなどAEDメーカーの各製品に合わせて製造する。防犯機能として扉を開くと周知音が鳴るほか、内部カメラで開閉した人を録画し記録する。異常検知センサーも搭載し、支柱の傾斜や太陽光

発電パネルからの連絡線遮断などが発生すると回転警告灯や警報音で警告する。緊急警報を受信・放送する防災機能を搭載した収納箱の標準価格は57万円。

心室細動などによって心停止状態になった心臓に電気ショックを与えるAEDは国内で2004年に一般市民の使用が解禁され、公共施設を中心にさまざまな場所に配置

されている。ただ防犯管理の都合から屋内に設置されることがほとんどで、「施設が閉まる夜間や休日にはAEDが使えず、救命ができないことがある」（曾根社長）。

屋内外でAEDを常時利用できるようにするため、自治体に独立電源型のAED収納箱を公共施設や公園、避難所などに設置することを提案していく。